

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県体育館及び山形県武道館	指定管理者	公益財団法人山形市スポーツ協会
所在地	山形市霞城町1番2号	県担当課 (電話番号)	観光文化スポーツ部スポーツ振興課 (023-630-2868)
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日		
検証期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	施設を管理運営するにあたり、協定書・仕様書・事業計画書に基づき、安心、安全を第一とした施設解放を行った。企画事業として、施設の特色を生かした「なぎなた入門教室」の実施や、「はじめてのチアダンス教室」を行い、スポーツ環境の向上に努めた。	評価 A	<評価の理由> ・管理運営について、仕様書に基づき適切に行われている。 ・施設の老朽化により施設管理が難しい中、適切な修繕等を行い、利用者に支障がないよう管理している。 ・スポーツ環境の向上に寄与する工夫した企画事業を実施している。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	施設・設備の老朽化に伴う経年劣化が続いている。	<課題等の原因分析> ・県体育館及び武道館は、耐用年数を大幅に過ぎており、施設整備の老朽化が激しい。 ・施設設備の設置から大幅に年数が経過しており、部品等の供給が終了しているものがある。	
課題、問題点への今後の対応	施設や設備の老朽化は否めないが、引き続き日常的な点検整備を行い、利用者の安全確保を最優先に考えながら管理・運営していく。		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	・利用者との日常の会話や意見交換会の実施、アンケートボックス(常設)の設置により、利用者の意見・要望を取り入れるよう努めた。(武道館の入口食堂前ロビーや1階階段が暗いという利用者から意見を踏まえ、LED照明に変更し明るくした。)	評価 A	<評価の理由> ・利用者との日常の会話に加え、意見交換会の実施やアンケートボックス(常設)の設置により、利用者の意見・要望を積極的に取り入れ、可能な限り対応している。
意見・要望等への今後の対応	日々利用者の声を聴くことに加え、定期的な意見交換会の開催やアンケートボックスの設置により、利用者から意見や要望を吸い上げ、可能な限り対応していく。		
3 指定管理者制度活用効果			
① サービスの向上	夏場の暑さ対策として、体育館内への大型送風機や入口付近へのミストシャワーを配備し、利用者の熱中症予防に努めた。	評価 A	<評価の理由> ・利用者からの意見・要望への対応や、熱中症対策等により、利用者のサービス・安全性の向上につながっている。
② 経費の節減	物価、資材、燃料が高騰している中、例年と同様に当協会が管理する他施設と併せた業務委託業者との一括契約や物品等の購入により、経費の削減に努めた。	評価 A	<評価の理由> ・複数の体育施設の管理を行っている強みを活かし、一括契約を行うなどして経費削減を行っている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	昨年に引き続き、山形県リサイクルシステムの古紙リサイクル「お古紙ください」を活用し、リサイクルに努めた。また山形市健康ポイント事業「SUKSK」への協力と健康ポイント対象施設として山形県体育館・武道館を引き続き登録し、山形市民・県民の健康に対する意識向上への取り組みに協力した。	評価 A	<評価の理由> ・継続的にリサイクルシステムを活用し、県が推奨する循環型社会の構築に貢献している。 ・山形市が実施している健康づくり事業に加わり、健康に対する意識を高める取組みを行っている。
総合的な評価	・施設管理者として意欲と責任感を持って日々の業務にあたっており、適切に施設運営管理が行われている。 ・施設や設備の老朽化による不具合がある中で、日常の安全点検や職員による修繕等により、利用者の安全の確保及び利便性の向上に努めている。 ・今後とも利用者を第一として迅速かつきめ細やかなサービスの提供に努め、山形市の地域スポーツ活動の拠点として市内の体育施設とも連携しつつ、引き続き工夫を凝らした運営を期待する。		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。